民生文教 常任委員会

「川越市介護支援いきいきポイント事業」を視察

元気な高齢者の社会参加と生きがいづくりに有効

委員長　柳沢浩一　　委　員　小林一幸
副委員長　新井賢次　　備前島久仁子
浅見武志
石川眞男

所管事務調査日：平成30年５月８日

●事業導入の経緯と目的

平成19年度に稲城市で実施された「介護支援ボランティア制度」を契機として、各自治体において介護予防を主目的とした取り組みが広がり始めた。川越市でも、生きがいづくりや介護予防への効果が有効だと考え、事業のあり方を検討し、平成28年10月から介護支援いきいきポイント事業を実施した。

本事業は、介護保険被保険者の地域における社会参加活動を評価・支援することにより、介護予防を推進し、膨大化する介護保険予算の抑制を目的としている。

●事業内容

本事業は、事業登録をした高齢者が、市の指定を受けた介護関連施設等で行った要介護者等へのボランティア活動に対して、実績を勘案してポイントを付与し、当該ポイントを活動奨励金や市の特産品等と交換できるというものである。

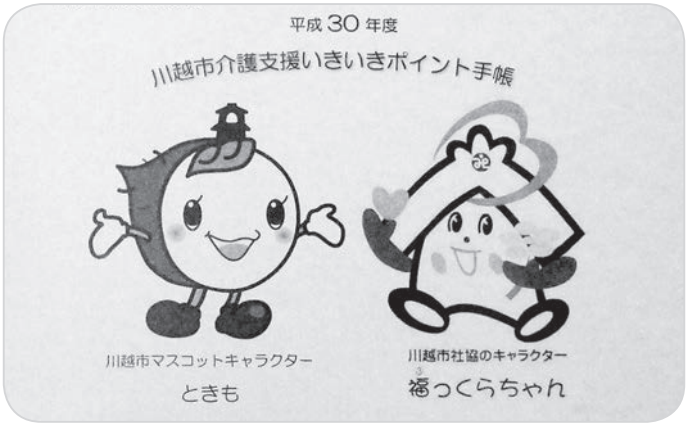
ポイントは、活動1時間につき1ポイントを付与（1日2ポイントが上限）し、ポイント集計用手帳などを効果的に活用し、活動意欲の向上につなげている。

まとめ

近年各自治体において介護予防を目的とした新しい視点に立った取り組みが広がり始めている。その一例として「介護支援いきいきポイント事業」を先進的に取り組んでいる埼玉県川越市への行政視察を実施した。

玉村町も高齢化率の上昇が避けて通れない中で、介護予防の充実とともに高齢者の増加を踏まえた福祉体制の整備が重要になっている。今回のポイント事業は高齢者の生きがいづくりにも参考となるもので、検討課題も多いが積極的に取り組む必要がある事業だと考える。

いきいきポイント事業について説明を受ける



介護支援いきいきポイント手帳

このメンバーで調査しました